

目次

概要

[どのように ESA のネットワーク インターフェイスの双方向設定を行いますか。](#)

概要

この資料はコリジョンエラー アラートの原因を記述したものです。

コリジョンエラー アラートは Cisco E メール セキュリティ アプライアンス (ESA) のイーサネット設定が間違って設定されているとき生成されます。通常これらのエラーはそれが接続されるスイッチポートおよび ESA のメディア設定が一致すると発生します。

ネットワーク設定を確認し、ネットワークスイッチおよび ESA が両方同じ速度 および デュプレックス設定に設定されることを確かめて下さい。

ESA のネットワーク インターフェイスの双方向設定を行う方法

`etherconfig` CLI コマンドが双方向設定 (十分に/半分) およびインターフェイス (10/100/1000 Mbps) のスループットのようなさまざまなイーサネット設定を行うのに使用することができます。

デフォルトで、インターフェイスは自動的にメディア設定を選択します; ただし、システムがコリジョンエラーを生成すればこの設定を無効にすることは必要であるかもしれません。

イーサネットインターフェイスのメディア設定についての情報に関しては、[AsyncOS 上級構成ガイド](#)を参照して下さい。